

# 大阪府工業指数2023年2月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

#### (1) 生産指数…87.1 前月比▲3.9% 3か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など6業種が低下し、食料品工業、窯業・土石製品工業など8業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、超硬工具等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.4%と2か月ぶりの低下となった。

#### (2) 出荷指数…85.8 前月比▲2.5% 3か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、石油・石炭製品工業など7業種が低下し、その他工業、食料品工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、超硬工具等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲4.9%と6か月連続の低下となった。

#### (3) 在庫指数…106.6 前月比▲0.6% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、金属製品工業、石油・石炭製品工業など6業種が低下し、鉄鋼・非鉄金属工業の1業種が横ばいとなり、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業など6業種が上昇した。

品目別にみると、飲料用アルミニウム缶、灯油等が低下した。

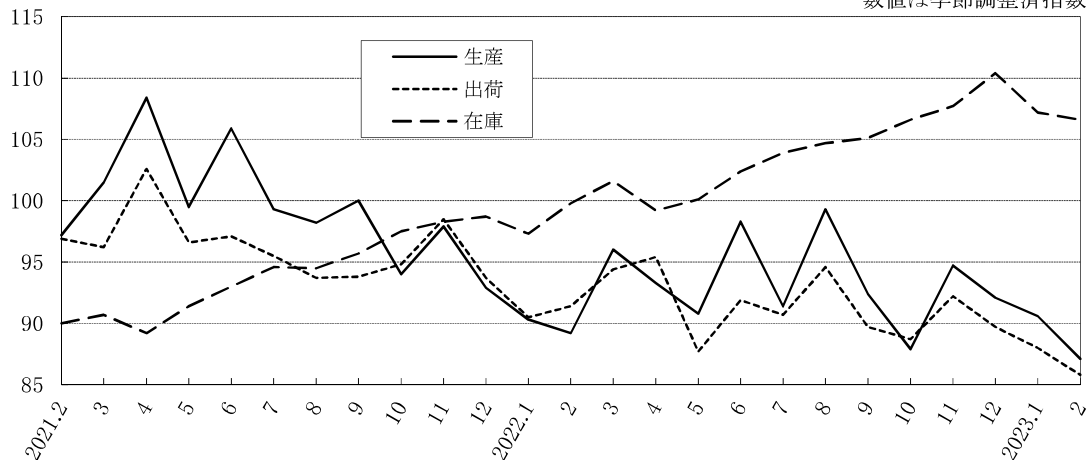
また、前年同月比(原指数)は、6.8%と18か月連続の上昇となった。

2015年=100

区分	月	季節調整済指数		原指数	
		値	前月比(%)	値	前年同月比(%)
生産	2023年1月	90.6	▲1.6	85.3	0.4
	2023年2月	87.1	▲3.9	87.0	▲2.4
出荷	2023年1月	88.0	▲1.9	82.7	▲2.1
	2023年2月	85.8	▲2.5	85.3	▲4.9
在庫	2023年1月	107.2	▲2.9	107.3	10.3
	2023年2月	106.6	▲0.6	105.9	6.8

### 生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 ▲ 3.9% 上昇 8業種  
低下 6業種  
横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	食料品工業	0.992	11.7	チョコレート、ウイスキー
	窯業・土石製品工業	0.361	24.5	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	その他工業	0.343	6.3	平版印刷(オフセット印刷)、ステンレス製魔法瓶
	輸送機械工業	0.282	4.6	輸送機械用エアコン(除. 乗用車用)、シャシー・車体部品
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.122	1.9	普通鋼冷延広幅帯鋼、銅荒引線
	プラスチック製品工業	0.072	1.9	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製ホース
	金属製品工業	0.050	0.6	橋りょう、電気溶接棒
	電子部品・デバイス工業	0.021	2.1	アクティブ型液晶パネル
	その他の上昇した品目			シヨベル系掘削機械【生産用機械工業】、繊維機械【生産用機械工業】
低下	化学工業	▲6.403	▲25.8	医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業	▲0.892	▲8.2	アーク溶接機、セパレート形エアコン(室外)
	生産用機械工業	▲0.477	▲3.7	超硬工具、研削盤
	汎用・業務用機械工業	▲0.223	▲3.0	ポンプ、汎用内燃機関
	石油・石炭製品工業	▲0.114	▲7.7	ジェット燃料油、ガソリン
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.045	▲2.8	紙器用板紙
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	橋りょう	金属製品工業
	2	チョコレート	食料品工業
	3	シヨベル系掘削機械	生産用機械工業
	4	ウイスキー	食料品工業
	5	平版印刷(オフセット印刷)	その他工業
	6	繊維機械	生産用機械工業
	7	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	8	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	9	炭酸ガス	化学工業
	10	菓子パン	食料品工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	超硬工具	生産用機械工業
	3	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	4	鉄道車両部品	輸送機械工業
	5	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	6	アンモニア	化学工業
	7	鉄道車両	輸送機械工業
	8	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	9	合成アセトン	化学工業
	10	研削盤	生産用機械工業

## (2)出荷

前月比

▲ 2.5%

上昇 7業種  
 低下 7業種  
 横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	その他工業	0.408	7.7	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、平版印刷(オフセット印刷)
	食料品工業	0.346	3.8	ウイスキー、砂糖
	金属製品工業	0.345	3.4	橋りょう、超硬チップ
	窯業・土石製品工業	0.213	19.1	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	プラスチック製品工業	0.034	0.8	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート
	電子部品・デバイス工業	0.026	4.6	固定コンデンサ
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.009	0.6	衛生用紙
	その他の上昇した品目			
低下	化学工業	▲2.418	▲16.4	医薬品、合成洗剤
	石油・石炭製品工業	▲0.953	▲10.0	軽油、ガソリン
	汎用・業務用機械工業	▲0.568	▲8.1	ポンプ、汎用内燃機関
	電気・情報通信機械工業	▲0.543	▲7.4	アーク溶接機、標準変圧器
	輸送機械工業	▲0.460	▲5.8	鉄道車両、電動アシスト自転車
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.198	▲1.7	銅荒引線、普通鋼H形鋼
	生産用機械工業	▲0.126	▲1.1	超硬工具、プレス用金型
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

## (3)在庫

前月比

▲ 0.6%

上昇 6業種  
 低下 6業種  
 横ばい 1業種

計 13業種

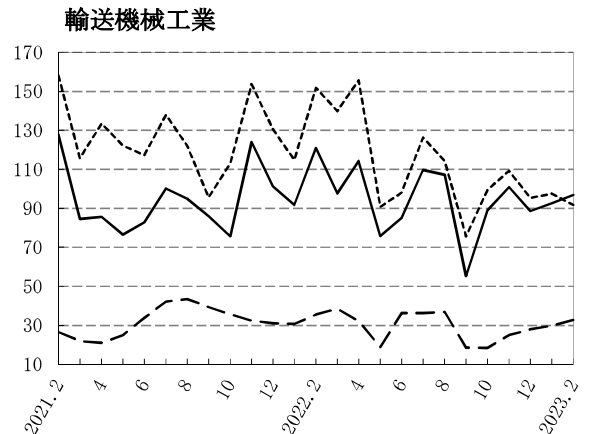
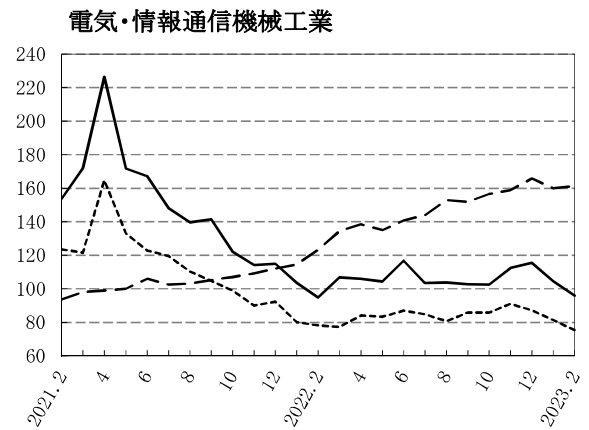
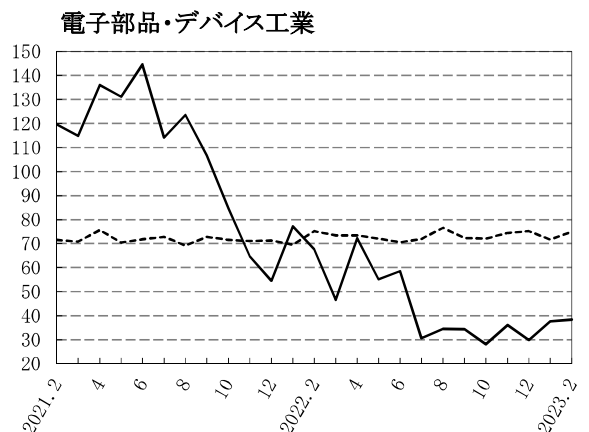
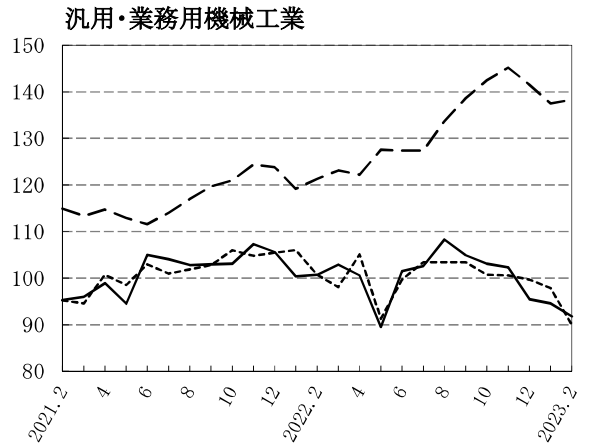
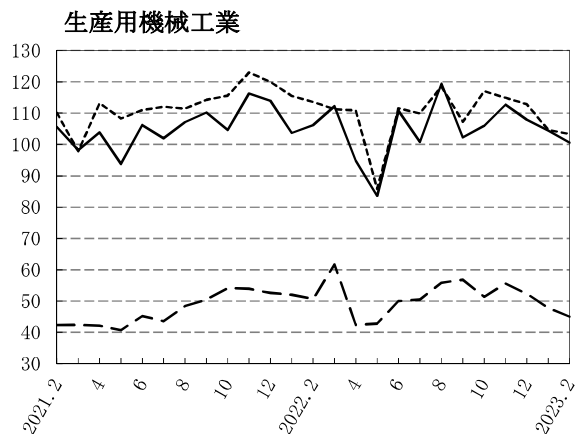
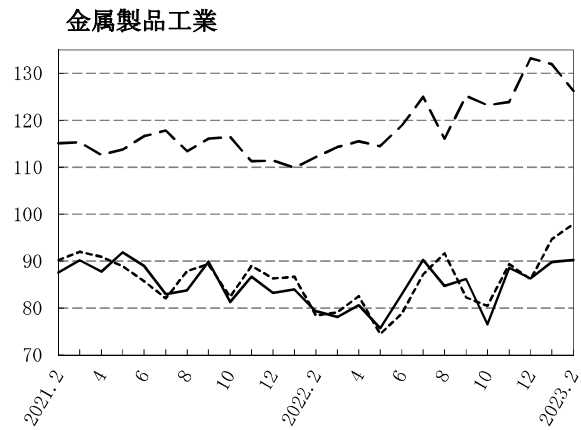
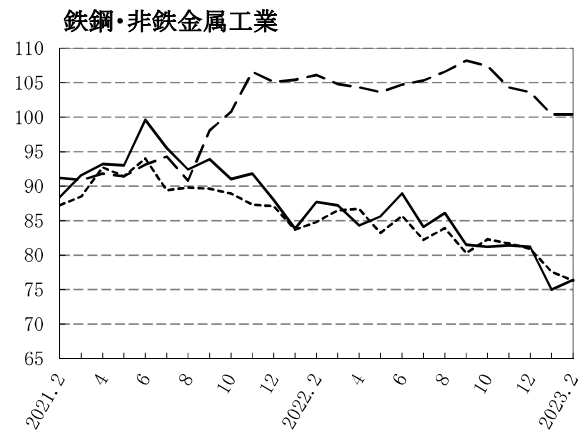
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.173	9.7	電動アシスト自転車
	電気・情報通信機械工業	0.149	0.7	セパレート形エアコン(室外)、電気冷蔵庫
	窯業・土石製品工業	0.101	9.8	安全ガラス、光学用ガラス素地
	化学工業	0.082	0.5	アンモニア、フルオロカーボン
	汎用・業務用機械工業	0.065	0.6	パッケージ形エアコン、ポンプ
	その他工業	0.047	0.9	マーキングペン、木製家具
	その他の上昇した品目			
横ばい	鉄鋼・非鉄金属工業	0.000	0.0	—
低下	金属製品工業	▲0.467	▲4.3	飲料用アルミニウム缶、スチール製缶
	石油・石炭製品工業	▲0.309	▲12.1	灯油、重油
	生産用機械工業	▲0.102	▲5.9	装輪式トラクタ
	プラスチック製品工業	▲0.084	▲2.6	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.054	▲3.6	紙器用板紙
	食料品工業	▲0.023	▲0.7	小麦粉
	その他の低下した品目			

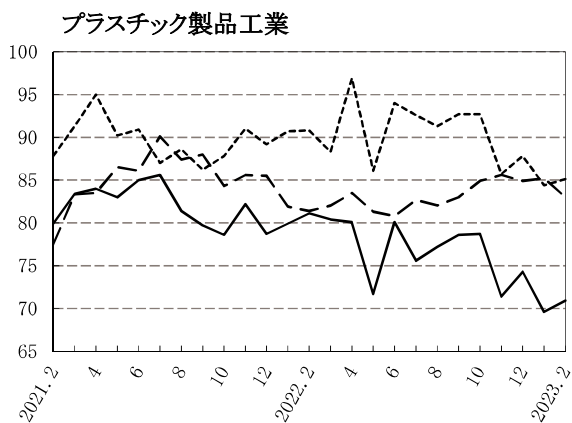
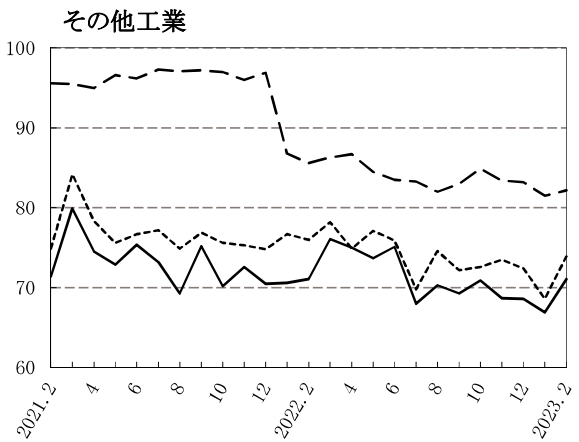
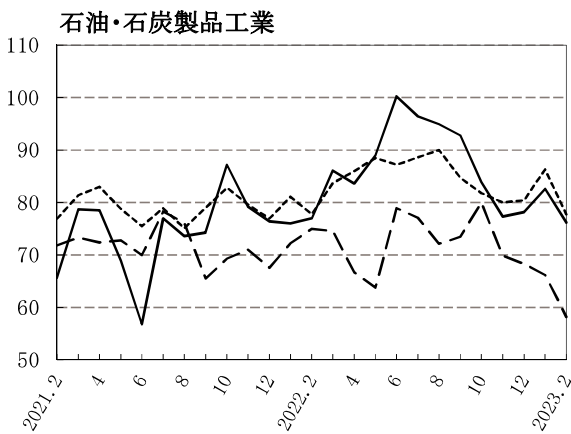
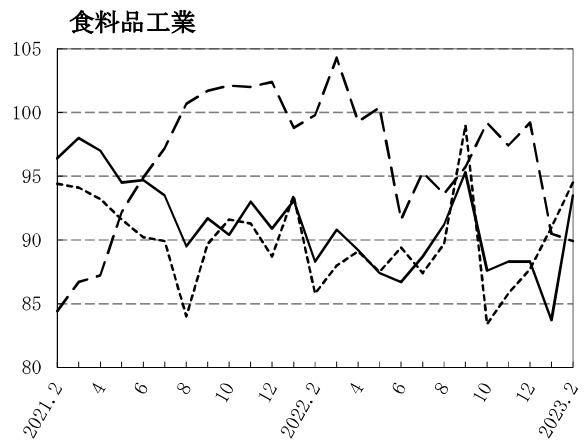
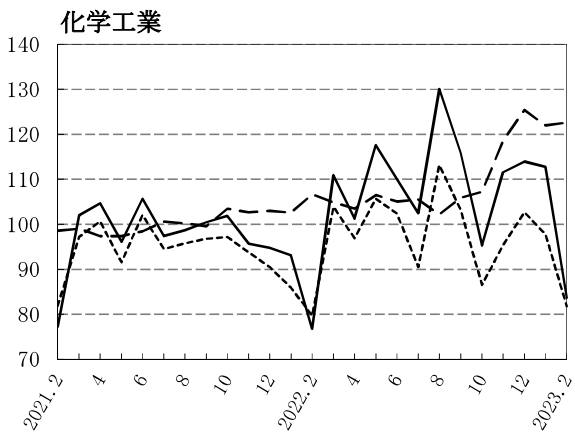
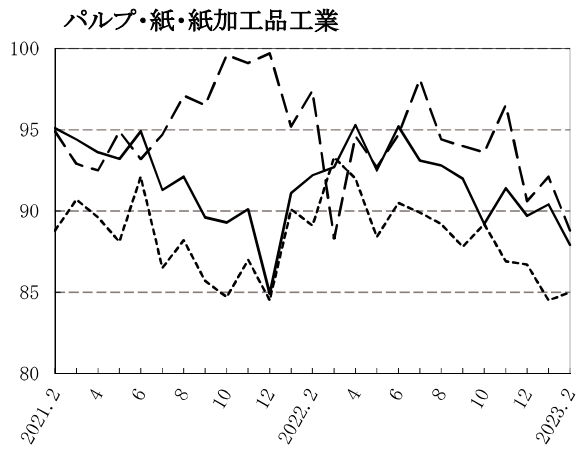
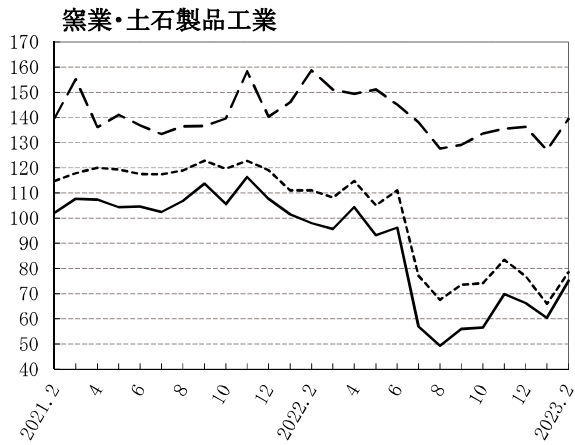
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数  
2015年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -





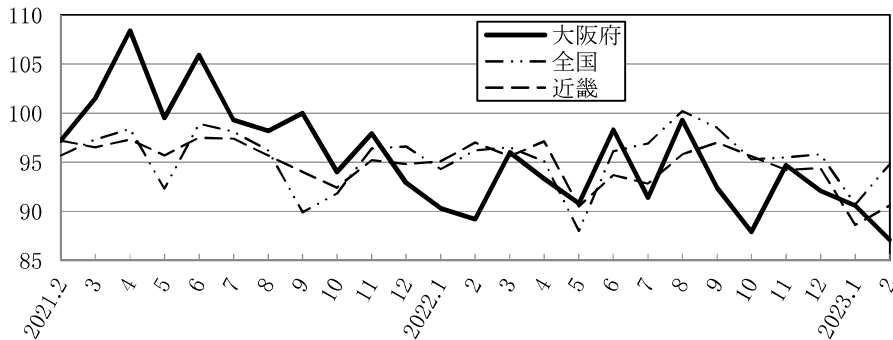
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	87.1	▲ 3.9	94.8	4.5	90.6	2.3
出荷	85.8	▲ 2.5	92.4	3.6	91.2	2.7
在庫	106.6	▲ 0.6	103.6	1.4	103.2	▲ 0.3

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2022年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)